市立札幌開成中等教育学校との交流

SGH校学校訪問交流　　**AKB Future Project 推進委員会**

■日　程　平成30年11月30日（金）　8:50～10:45
■生　徒　本校生徒　４回生７６名　　市立札幌開成中等教育学校４年生（約１６０名）
■目　的　（１）ＳＧＨ校を訪問し、課題研究の成果を発表するとともに、他校の取組を知ることにより、問題意識を高め、課題研究を深める機会とする。
（２）他校との交流により、情報発信力および課題解決力を養う。
（３）生徒達が主体的に意見交換を行い、互いに知見を深め、コミュニケーション能力を向上させる機会とする。

初めての中等教育学校交流

本校４回生は、２泊３日の宿泊研修を札幌で実施しています。その宿泊研修の最終日に、市立札幌開成中等教育学校の４年生と、課題研究交流を行いました。北海道内には、公立の中等教育学校は２校しかありません。代表生徒同士の交流などは今までもありましたが、学年全体での交流は初めてのことです。

前日のリハーサル

宿泊研修２日目の夜は、翌日の交流に備えて、課題研究発表の最終リハーサルです。到着してからの動きを確認した後に、２グループが組になってお互いに発表し、アドバイスをしました。１日半のインターンシップを終えての疲れも見せず、アイコンタクトやジェスチャーなどに気をつけながら、練習に励みました。

アイスブレイク

最初は、本校上田教諭によるアイスブレイクです。最初は、お互いの学校の生徒に話しかけるビンゴの活動の後、グループワークを行いました。短い時間でしたが、多くの生徒と話をすることで、緊張も解けました。

課題研究発表

本校は「食」の問題に関するグループ研究、開成の生徒さんは各生徒の興味関心でテーマが異なる個人研究でした。本校の生徒は、開成の生徒さんたちの個性的なテーマ、そして深い研究に耳を傾けていました。本校の生徒たちも、自分たちの研究について堂々と発表し、その後のするどい質問にも頑張って答えていました。

笑顔あふれる交流

最後に、生徒の発案で両校の校歌を披露しました。年次全体での交流に、不安と期待を持って臨みましたが、生徒たちの生き生きと積極的に活動する姿や、笑顔あふれる顔を見て、今後も続けるべきと確信しました。登別、札幌と距離はありますが、ＳＧＨ終了後も中等教育学校交流を続けたいものです。

【生徒の感想】（一部）

- お互いに積極的に話し合うことができた。明日生とはまた違う視点から質問を受けてかなり参考になった。明日の中だけでは見識が狭いと思うので、開成との交流はそのような意味でも有意義なものであった。
- 開成の生徒の研究は、長期間深く考えてより良い研究を作ろうという思いが伝わってきた。今回、開成の発表を聞いたおかげで、自分たちの研究をまだまだ濃いものにしていく必要があることに気づけた。